

# 株式会社ジェイコム東京 板橋局

## 放送番組審議会 議事録

2020年度株式会社ジェイコム東京板橋局 放送番組審議会は、  
2021年3月12日(金)オンラインにて開催された。

### 【放送番組審議会委員】

ご出席

高田 修一 様

平井 和成 様

木田 孝雄 様

江村 宏二 様

海老原 信行様

江村 宏二 様

中川 修一 様

ご欠席

三原 進 様

小熊 大介 様

### 【事業者：株式会社ジェイコム東京】

板橋局 局長 前田 浩慶

板橋局 管理部長 石原 綾子

板橋局 地域プロデューサ 奥田 貴一

板橋局 地域プロデューサ 辻 詩織

### 【事業者：株式会社ジュピターテレコム 地域コミュニケーション統括部】

地域コミュニケーション統括部 遠藤 勇二

地域コミュニケーション統括部 星 伊久磨

事業者側から事業報告及び J:COM チャンネル(11ch)と J:COM テレビ(10ch)について報告。

## 【質疑応答・意見交換】進行：高田委員長

### ■コロナ影響での芸術活動について

#### 委員

コロナ影響で様々な行事が中止となっている中で、アーティストや表現者は、発信方法を模索している。顕著なのがYouTubeの使用。YouTube上でパフォーマンスを放映。

JCOMとのコンテンツを通じたコラボレーションができないかと考えている。

自身のお寺をスタジオ的な使い方としてライブ配信を開催。音楽関係者へ会場提供を行っている。

ネットワーク上であれば、世界を相手にした取り組みも出来る。

これらにおいても質の高いものであれば、JCOMの番組でも放送することができるのではないかと感じた。

魅力的なコンテンツはたくさんあるので、JCOMとしても情報を拾うことが必要だと思う。

アーティストからの依頼が私にくることも多く、情報提供はできるので、是非ヒントとしてほしい。

### ■スポーツコンテンツをきっかけとした認知度の向上について

#### 委員

資料や動画を見させていただいた。全国にある拠点で、コロナ禍でも様々な情報を発信していて素晴らしいと感じる。だが、そうしたJCOMの番組の良さを知らない人が多いのではないかと考えている。

板橋区であれば、スポーツ選手が多く住んでいるので、認知度向上に活用できないだろうか。

現在の状況下で、オンラインでのトレーニングなど新しい取り組みも次々と生まれている。

コロナ禍で生まれた新しいサービスや情報を提供していく、というのも面白いと思う。

板橋区に住んでいる・関係のあるアスリート、特に今年はオリンピックイヤーなのでオリンピックなど、彼らの紹介をすることで、今までJCOMのことを知らなかった人たちにもJCOM番組の良さが届くのではないかとと思う。

### ■行政事業の発信方法について

#### 委員

教育委員会も含めた行政として、区民に向けて実施している施策や事業について、文字だけでは伝わりづらい情報を、JCOMは音声・映像として紹介してくれるため非常に助かっている。

JCOMの「ど・ろーかる」の視点について、「郷土愛」という点にポイントを置いている。

「地元」「板橋」を愛する子どもたちを育てていこうとしている中で、JCOMの地域に根差した取材・地域を取り上げた番組作りというのはとても良いと感じている。伝えたいことがうまく伝わらないことも多いので、教育委員会としては今後もJCOMとの繋がりを密にしていきたい。

学校の先生と教育委員会が手を組んで、教育に関する番組を継続的に作っていくことはできないか。

板橋区の各ご家庭の保護者に届けることが出来れば、と考えている。

### ■地域密着での取り組みについて

#### 委員

商店街連合会も同様、コロナ禍で様々な活動を制限されている状況。

一方でこの状況は、今後の取り組みについて新たな方向性を改めて考えるチャンスなのではないか、と思っている。

そこで、JCOMの特性を活かした、より地域に根差した番組、「ど・ろーかる」の取り組みを引き続き進めていくべき。

高校野球特番、いたばし花火大会特番は地域密着の取り組みとして良かった、先ほど話題の、地元アーティスト

の紹介等も良いと思う。

コロナ影響で活動が難しい状況が続くと思うが、引き続き地域に特化した番組制作をお願いしたい。

## 委員

東京エクセレンスは、コロナ禍でなかなか試合ができない状況が続いていた。

厳しい状況下で地域を元気にするには、子どもたちの活動とスポーツが重要ではないかと考えている。

スポーツ大会の制限は続いているが、テレビ放送されているスポーツを見て感動する、元気が出るというのは影響力が大きい。高校野球の地方予選はテレビではあまり放送されないと思うので、JCOMで特番として放送されることは選手にとっても親にとってもありがたいことだと思うので、引き続き実施してほしい。

子どもたちの笑顔や元気な姿を見ることで、幸せな気持ちになることはよくあると思う。

東京エクセレンスの試合時も、子どもたちが応援に来てくれると頑張ろうという気持ちが高まる。

訪問取材が難しい状況も分かるが、子どもたちが楽しんでいる姿を放送できるよう取り組んでほしい。

最近SNSやYouTubeの連携が重要になってきている。JCOMもうまく活用して、番組内容の周知につなげていくべきだと考えている。

## 事業者

JCOMの今の考えを共有させていただきたい。JCOMの番組はとてもいいものだが、あまり知られていないのではないかとこの点について。来期、つながるNEWSの放送の中で、社員出演によるPRコーナーを設ける予定。

「発信力の強化」と「親しみやすさの醸成」を目的としている。

またSNSについては、JCOM東京内の一部の局ではTwitterアカウントを活用しているところもあり、私たちも今後活用の検討段階にある。

その他、本日様々なキーワードをいただいたが、それらを発信していく新たな番組制作も検討している。

板橋区図鑑は、板橋の「人」を紹介していく番組であるが、一方で区民の皆様の「取り組み」を紹介する番組が必要ではないかと考えている。これまではニュースの中で取り上げてきたが、尺が短いこともあるので、より幅を広げた番組制作を検討している。ローカル性に焦点を当てていきたい。

## 事業者

昨年11月から、「つながるNEWS板橋・北」のTwitter「J:COMチャンネル 板橋・東京北」を開始している。現状はニュースの放送内容を発信するのみだが、フォローいただいた方からの情報提供なども増え、ご意見をいただいている。今後も、広く皆様に番組を見ていただくための努力を続けていく。

### ■リニューアルオープンする中央図書館について

#### 委員

3月末に、常盤台に新しい図書館ができる。図書館の役割や魅力、また常盤台から上板橋にかけての図書館近辺の地域の魅力など、図書館を通して板橋区の魅力を発信する番組制作を、板橋区とJCOMで手を組んで作っていくことが良いのではないかと考えている。

#### 委員

3月28日にオープンした中央図書館は、建物としても素晴らしく、また1階部分が子ども達を対象としたフロアで、絵本を中心とした設計となっている。区としても図書館近辺のお店へ絵本を設置いただくなど、地域全体として「絵

本のまち板橋」として区のブランドを作っていきたいと考えている。

是非多くの区民に来ていただきたく、魅力発信のためにJCOMでも取り上げていただきたい。

教育科学館・中央図書館・平和公園が、区民の学びのキャンパスとしての広がりを持てるような情報発信に協力いただきたい。

#### **委員**

中央図書館については、例えば自分のもっている本を気軽に寄贈できる仕組みであるとか、区民参加型の取り組みがあると、身近な場所としてより区民に知ってもらえると思う。

#### **委員**

絵本作家の「諸橋精光」という知り合いがいる。彼は、畳一畳分サイズの大きな紙芝居を作っており、そこに音楽をつけて紙芝居ライブとしてイベントを実施している。だが去年はコロナ禍ですべて中止となってしまった。

とても質の高いイベントなので、是非JCOMで特番化するなど取り上げていただきたい。

また、「絵本のまち」としてのイメージにも合致していると思うので、板橋区としても協力していただきたい。

### **■再開発について**

#### **委員**

今現在も進んでいる板橋区の再開発の情報は、多くの区民が知らないのではないかと思っている。

客観性をもった情報として、JCOMで取り上げることも必要ではないか。

#### **委員**

再開発によって、板橋区の街づくりは大きく変化していく。再開発の対象となっている地域住民の皆様の環境ももちろん大きく変わるはずなので、JCOMには地域メディアとして情報発信に努めていただきたい。

### **■常盤山部屋について**

#### **委員**

前野町に相撲の常盤山部屋が移転。板橋区の新しい魅力としてJCOMでも取り上げていただきたい。

### **■環境問題への取組みについて**

#### **委員**

板橋区は、2050年度までにゼロカーボンシティの実現を目指している。

（温室効果ガス排出量の多くを占める二酸化炭素排出量を実質ゼロへする）

SDGsには17の目標があるが、板橋区は特に環境問題に取り組んでいこうとしている。この取組みについて、区民の認知度が低いと感じており、是非JCOMで環境問題についての特番など作り、情報発信いただきたい。

#### **委員**

東京エクセレンスでは、ホームゲームの際に小豆沢体育館周辺のごみ拾い活動を実施している。

「海のごみの8割は街からやってくる」という合言葉をもとに活動しており、参加してくれた区民の方にはごみ拾い用のトングをプレゼントするなど、区民と一緒に環境問題への取組みを実施している。番組制作の際には我々も協力できると思う。

## 事業者

JCOMも毎年、「CLEAN UP OUR TOWN」という街の清掃活動を局毎に実施している。

去年はコロナ影響で実施できなかったが、以降、実施する際は、板橋区やエクセレンス等の地元企業と連携していきたい。

以上